

JAITI 39

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 公益財団法人 日本農業研修場協力団
事 務 所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

公益財団法人に認可されました

ジャイチは、昨年十一月二十日に申請を行い本年三月十八日に、国（内閣府）の認可を受け、四月一日から「財団法人」より「公益財団法人」に移行いたしました。国からの公益認定は長野県では第一号です。これまで継続してご支援してくださった皆様の賜と感謝申し上げます、厚くお礼を申し上げます。

一九九三年長野県より財団法人の認可を受け、開発途上国（ネパール）へのNGOとして活動をしてまいりましたが、それらの活動が名実ともに認められました。次の世代に向け大きな一歩と言えます。

公益認定と共に、ご寄附を頂いた方々への公益増進法人として税の優遇措置が受けられることが可能になりました。（ご寄附のお願いを参照）今後とも、皆様方のご理解ご協力を改めてお願い申し上げます。

◆評議員・理事・監事の選出

公益財団法人移行に伴い評議員・理事・監事が改めて選出されました。（二頁）任期は定款に基づき評議員四年・理事二年・監事四年ですが、今回は移行期とい

うことで理事・監事は来年六月に再選出されます。

◆評議員会・理事会

三月二十日に財団法人として最後の評議員会で公益法人の理事・監事の選出がありました。理事会においては理事長に小林淳氏を再任しました。四月三日開催の理事会では二十二年度の事業計画・収支予算が承認されました。財団法人最後の二十一年度の事業報告・決算が理事会では六月六日に、評議員会では六月十四日にそれぞれ承認されました。

◆農業支援事業

本年二月五日から二十四日まで土屋興亜農業指導員をJAICAFの助成を受けカカニ地区・バシファント地区に派遣しました。土屋指導員の農業指導は今回の農業報告（三頁）をもって終了することとなりました。九年間本当にありがとうございました。又、JAICAFの助成も二十一年度で打ち切りとなりました。現在、ジャイチでは新たな農業指導員を募集しています。志のある方は事務局までご連絡下さい。

◆スタディーツアー

昨年はネパール情勢により中止となりましたが、本年も計画いたします。

公益法人改革

公益法人を大きく分けると社団法人と財団法人になります。現在この法人が二四〇〇〇余あり、明治二十九年公益法人法が施行されました。平成二十年十二月抜本的な見直しがあり、新公益法人法が施行され、これは民意と自主性を重点におき、民主導の考え方が基本とされています。

現在の公益法人は民法上特例民法法人に入り、二十年十二月より五年以内に全法人が公益法人または一般法人および解散のいずれかを選択することとなりました。公益と一般の違いは、収益事業の比率、不特定多数の方への寄与などの申請が重要となり、結果は第三者機関によって判断されます。認定機関は、今回の改正で内閣府と各都道府県に一本化されました。

ジャイチは今までの活動今後についての展望等を考慮し公益法人の道を選択しました。移行後の活動自体は変わりませんが、次のステップに向け大きく踏み出す事ができると確信します。



▲全員集合 私たち皆勉強大好きです。
上・中 レカリ・バシファント学校479名、下 プライター学校274名在校

おくやみ

ジャイチ創設者、元理事
長小林榮氏が平成二十二年
五月十五日未明、享年九十
二歳で逝去されました。謹
んで哀悼の意を表させてい
たきます。



故 小林 榮氏

無欲の人と人との出会いが
ありました。

故人の出会った相手は、
ネパールに精通した菊池健
介氏その人でした。菊池氏
の案内でネパールの地を踏
み現地人の生活状況や人間
性と自然などが、昔生まれ
育った故郷の長野の追憶と
なり、そこからスタートし
たジャイチです。

先ず財団法人の設立に向
けて、資金面を故人が、事
業実務面で現地を熟知した
菊池氏が関わり、車の両輪
となって発足しました。爾
来、広範囲にわたる支援者

のご協力を頂き、識字率の
低い地域の基礎教育、低所
得農家に換金作物の栽培指
導を重点に二十二年前に播
いたそれぞれの小さな種が
大地に根付き成長しつつあ
ります。この間故人は現地
ネパールに六十五回訪れそ
の偉業は高く評価され住民
から「おとうさん」と称さ
れておりました。

人生三部作の九十二歳で
は思い残すことなく人生の
終焉を迎え新たな旅立ちを
されました。創設者の崇高
な理念を受け継ぎ、公益財
団法人ジャイチの質のある
活動に邁進すべく責務を感
じています。

最後に故小林榮翁のご冥
福をお祈り申し上げます。
理事長 小林 淳
合掌



▲1993年開校の入学式で新入生と記念撮影するあり日の小林氏
Late Mr. Sakae Kobayashi appearing with the first batch's
students in the school opening ceremony in 1993.

新理事・監事・評議員

理事	長 小 林	淳 夫	長 野 県 長 和 町
常務理事	島 田 晴	弘 正	長 野 県 上 田 市
理事	小 島 基	一 郎	神 奈 川 県 大 和 市
理事	立 岩 寿	一 郎	長 野 県 上 田 市
理事	立 岩 健	一 郎	長 野 県 長 和 町
理事	堀 野 知	昌 久	長 野 県 上 田 市
理事	堀 野 知	昌 久	長 野 県 上 田 市
監事	高 土 陽	一 三	長 野 県 長 和 町
監事	井 出 正	守 雄	長 野 県 上 田 市
評議員	井 出 林	保 彦	神 奈 川 県 横 浜 市
評議員	井 出 林	保 彦	長 野 県 上 田 市
評議員	中 直 井	邦 夫	長 野 県 上 田 市
評議員	中 直 井	邦 夫	長 野 県 上 田 市
評議員	中 森 繁	良 光	長 野 県 長 和 町
評議員	中 森 繁	良 光	長 野 県 長 和 町
任期	平成22年4月1日から1年間(今年度のみ)		
監事	平成22年4月1日から1年間(今年度のみ)		
評議員	平成22年4月1日から4年間		

ためだった。
バシファント学校に着く
と日本から寄付された手編
みの毛糸の帽子を一年生に
授与する儀式に立会った。
可愛い子供たちがはにかみ
ながら帽子をかぶせてもら
う姿が何とも言えなかった。
山奥に学校がある事、通学
風景、身体能力の高さ、皆
の笑顔、真剣に授業に取り
組む姿勢、何もかもが新鮮
で懐かしい感じがした。私
はその日からバシファント学
校卒業生であるウツタム君の
家で五日間お世話になった。

朝は早く出発し、ウツタム
君の家から学校へ約二時間
半歩いて通った。途中で子
供たちと会い、一緒に歩い
たりお母さんたちと話した
り、のどかでゆったりした
時間を過ごしたことで、ネ
パールでの生活が垣間見え
た。お金はあまり無い様だ
が、生きるための仕事を多
くの人が当然の様にしてい
た。昔の日本を感じた。私
達が今後生きていくヒント
を頂いた。

多くはカトマンズまでは
歩いて帰った。車でも六時
間ほどかかる行程だが、山
を越えて行けるので、車と
変わらず八時間ほどで着い
た。山を越え、村を越え歩
く事で歩く意味を強く感じ
た。そろそろ疲れたなと思
うとチャイ屋さんがあった。
歩く文化の村が形成されて
いるんだなと感じた。村に
は人が溢れ活気があった。
次の日はカカニを訪れた。
日本でも見られる棚田の様
な畑が多くみられた。
イチゴ農家を訪ね、写真
を撮った。カトマンズから車
で約一時間のカカニではイ
チゴを栽培しカトマンズで売
たり、ホテルに卸している
農家が多くみられた。イチ
ゴ農家は比較的収入が安定
している様だったが換金作
物が多く自給用の畑や田が
あまり見られず気になった。

(長野県上田市)

平成21年度 事業決算報告	
科目	(単位:円)
収入	
基本財産運用益	6,203,911
特定資産運用益	770,566
受取寄附金	2,549,098
助成金収入	1,958,200
土地売却収入	500,000
雑 収 益	230,312
当期収入計	12,212,087
前期繰越収支差額	3,500,732
支出	
共通事業費	2,484,269
農業技術者派遣事業	2,255,462
武石実習農場事業	14,981
募金事業	142,738
開発途上国の農業団体への助成事業	2,891,114
日本人職員による調査研究事業	38,549
奨学金里親事業	14,302
開発途上国の農業文化案内と 視聴覚教材貸出事業	143,927
機関誌発行事業	381,999
管理費	1,960,843
基本財産支出	138,531
特定資産支出	64,000
当期支出合計	10,530,715
当期収支差額	1,681,372
次期繰越収支差額	5,182,104

ネパールの農業報告

(二〇一〇年二月)

◆マクワンプール郡

ナムター村と周辺村で、やさしい栽培指導に取り組み五年が経過しました。J A I C A Fのご支援を頂いての活動でしたが、補助も終了ということから一応の取りまとめをしました。

アブラナ科やさしい(キャベツ、カリフラワー、大根、アブラナなど)中心の高原やさしい地帯ですが、アブラナ科やさしいの難土壤病害で

あるネコブ病(根部がコブ状になり養水分の吸収が妨げられて育成不良や枯死に至る)に悩んでいました。

日本でも対応に苦慮することの多い難土壤病害ですが、諸対策を講じだしましたし栽培する技術が確立しています。ネパールではネコブ病に対する知識はまったく無く、ただ困惑している状況でした。

そこで日本での知見を現地に移しながら対策に取り組み一定の方向づけができました。いくつかの対策があり、当初はネコブ病抵抗



▲パルン村にて 平坦部は水田だが、やさいだと年3作でき、収益性が高いため、水稲を作付する人は皆無。春1~5月の1作物はほとんどジャガイモ。その後キャベツ・カリフラワー・大根など。

Palung village: The farmer's lands are though flat paddy fields actually, but as they can produce vegetables thrice a year in it, and gain high profit, there are no farmers to grow paddy now a day. They grow mostly potato from January to May and after harvesting potato, they grow cabbage, cauliflower, radish etc rest of the months all over the year.



▲オカルパウワ村のイチゴ出荷施設にて。選果状況。

Strawberry transportation facility of Okharpauwa village: This is an actual condition



▲オカルパウワ村。昨年3人の若者がバラ栽培に挑戦(前号記載)と書いたが2月に行って見たら10数人に増加しており驚いた。地域農業が大きく変わる可能性大。

Okharpauwa village: In last report, I had written that "3 young farmers enrolled to challenge growing rose", but while I visited again in February this year, I surprised to find the increment of farmers for more than 10 in number.

There is high possibility the agriculture farming take a big turn at this locality.

性品種の導入を模索しましたが知的財産保護の観点から慎重にという指摘を頂き

断念。また農業防除もネパールの実情からむずかしいと判断しました。

それ以外の①ネコブ病に無関係の他科やさしいの栽培指導と②アブラナ科やさしいにはネパールでも重要やさしいが多いことから、日本で取り組まれている諸対策の技術指導に努めました。

技術内容については今まで折にふれ書いていますので、触れませんが五年間の指導内容に今後とも取り組んでほしいと願っています。

それらの対策に取り組みなければ栽培ができない難病害ですので守ってけると信じています。

日本側も補助事業が切れ

たので終わりではなく、今後もアドバイスが重要です。

◆ヌワコット郡

カカニ地区のイチゴがきびしい気象条件や連作障害などから衰退の道をたどり始めたことから再度の取り組みとなり二年経過です。現在では一部の適地を除き撤退も止むを得ないと判断しています。

現在はカカニ峠南側のオカルパウワ村、チトレ村、クレ村方面の南面傾斜の温暖地に産地が移動しており、その地帯での技術支援が中心となっています。

イチゴではウイルス病による生産性の低下が問題で、日本では定期的な種苗更新が必須技術ですが、ネパールでは諸事情から取り組みが後れたことは否めません。



▲パルン村ファンドバザールにて。講習会に集まった皆さん。キャベツ・カリフラワー・大根などが主作物で、ネコブ病に悩んでおり熱心

Palung Village Fund Bazaar: The farmers gathered in a training program. They are seriously worried about the root disease of their main crops like cabbage, cauliflower and radish.

現在鋭意種苗更新に取り組んでおり、その成果が見え始めてきており、農家もその重要性を認識するに至り喜んでいきます。更なる取り組みに期待します。

単品目集中の危険性をたえず話している所であり、いろいろな品目の導入を進めるにあたりと致します。(農業指導員 土屋興亜)

◆退任あいさつ
開発途上国支援というJ A I T I 創立の精神と、それにかけた創立者の思いに共感しての九年間の農業支援への係わりでした。

当初の関係者の多くが引退されて寂しい限りですが係わる人が変わっても設立の精神は受けつがれなければなりません。新公益法人として認定されたのもこの精神なればこそです。

定款に記載されているこの基本理念を踏み外すことのない活動を祈念して退任のあいさつと致します。

事務局だより

▼ジャイチ

- 1月 ・機関紙38号を送送(約1400通)
 - 2月 ・土屋農業指導員が農業の指導でネパールへ出張
・島田常務理事が総合指導でネパールへ出張
・22年度事業計画・予算案作成
 - 3月 ・(社)国際農林業協働協会に事業の完了報告書を提出
・長野県丸子北中学校の卒業生よりランドセル96個寄付
・18日内閣府より公益法人に認定される
・20日理事・評議員会開催(理事・監事の選任、代表理事の選任)
 - 4月 ・1日長野法務局に解散登記及び公益法人移行登記実施
・3日理事会開催(22年度事業計画・収支予算の承認、寄附金取扱規程の承認)
・上田市に法人税の減免申請書を提出
 - 5月 ・10日平成21年度決算監査を実施
・機関紙39号の企画
 - 6月 ・あーすの会の皆さんが事務所訪問
・6日理事会開催(21年度事業報告・決算の承認)
・14日評議員会開催(21年度事業報告・決算の承認・役員報酬規定の承認)
・長野県に21年度の事業報告書を提出
・機関紙編集・送付作業
- バザーをありがとうございました。
・根津バザーの会(東京都文京区)
・別所バザー(長野県上田市)

ジャイチネパール▼

- 1月 ・レカリ・バシファント学校代表会議
・田山豊實さん提案の民族物語について会議
・元農場長ラクバ氏引越し終了後、教師がグルン氏より農場の使用について指導を受ける
・定期試験の実施
- 2月 ・レカリ・バシファント学校でクイズコンテストとバレーボール大会を実施
・SLCの予備試験で16人中14人が合格
・農場の管理棟を学校のために使用する事決定
・土屋農業指導員と島田総合指導員が訪問
・ブライター学校でヌフコトフェスタのタイクアンド大会に参加し、金と銀メダルを獲得
・来年度の予算作成
- 3月 ・ブライター学校の寮のベッドと7年生用の机など揃える。
・春木先生ブライター学校訪問、衛生・寄生虫などの話をされる
・レカリ・バシファント学校の10年終了生14人がSLCを受験
・来年度の学年カレンダー作成
- 4月 ・レカリ・バシファント学校で周辺の村を廻り入学キャンペーンをおこない、479名の在校となる
・ブライター学校では34人が入学し、7クラスで274名の在校となる
- 5月 ・マオイストのストで6日間休み
・創設者小林榮氏計報のためのお祈りを関係者全員で行う
・バレーボール大会の実施
・ブライター学校の施設の補修など実施
- 6月 ・SLC12人合格
・停電週12時間となる

「継続は力なり お絵描き授業」

創元会会員・公立中学校美術教師 坂本 ふみ

前年に続き、今回も授業をすることにりましたが、今回は、私が子どもたちに、年一回の絵を描く授業をするよりも、子どもたちに継続して指導できるように、先生方に指導した方がよいのではないかと考えました。そこでまず先生方の描写



▲レカリ・バシファント学校で、先生達に絵の指導をする坂本さん Ms. Sakamoto Fumi is instructing Lekali Basiphant School teachers about painting.

力を知るために、先生方に二人ペアになり、互いにモデルになり合いながら、鉛筆で人物デッサンをしました。そのデッサンを元に基本

的な形の見方や描く大きさ、鉛筆の使い方などについて助言し、再度デッサンをしました。短時間ででしたが、個に応じた助言で、随分正確に描く様になってきました。助言後の作品を見て、先生方も上達ぶりに満足されていくようです。今回の取り組みは好評で、今後も継続して欲しいとの要望がありました。私も年一回の取り組みとなりますが、計画的に指導内容を考えながら続けたいと思います。(福岡県北九州市)

「あら不思議 「カブト」が出来た」

田山 豊實

シンパンジャン、カカニに、出かける機会があると、古新聞紙を譲りうけて、正方形に切って学校へ向かいませす。担任の先生、ケシーさんによる折りがた指導で、生徒達と一緒に、正方形の新聞紙を半分(三角形)に、半分(三角形)に折っていくと、いつの間にか「カブト」が出来上がります。



▲新聞紙で兜を作り得意顔の生徒達 Students with blooming face after fabricating a beetle by old newspaper.

出来上がった、カブトをかぶった時の、生徒達の満面の笑顔が、又行こうと思ふ原点となっています。(東京都品川区)

「JAITINEPAールの農場と学校訪問の旅」募集

- ◆ 日程 十月十日(水)～十九日(金) 八泊十日
- ◆ 旅程 成田より香港経由で同日カトマンズ着。翌日よりポカラ(ミニトレッキング)→ルンピニ→チトワン国立公園→レカリ・バシファント学校→カトマンズ(マウンテンフライト)→カカニ農場・ブライター学校→カトマンズと移動します。十八日深夜カトマンズ発香港経由で十九日成田に戻ります。
- ◆ 費用 二十六万円
- ◆ 全行程中の移動手段(航空機はエアーニークラス)、宿泊費、食事代を含む。日本国内交通費と海外旅行保険料は含まれていません。
- ◆ 最小催行人員 十名
- ◆ 申込み方法 電話・Faxにてお問い合わせ下さい。申込書をお送り致します。
- ◆ 申込期限 八月三十日(金)
- ◆ 定員になり次第締切
- ◆ お問い合わせ 企画 (公財)ジャイチ事務局 TEL 〇二六八八五二三四六五 FAX 〇二六八八五二三五八三
- ◆ お申込み 主催(株)西遊旅行 観光庁長官登録旅行業 第八〇七号 日本旅行業協会正会員 〒一〇一〇〇五二 千代田区神田神保町二二一岩波書店アネックス五階 TEL 〇三三三三三三七三三九六 FAX 〇三三三三三三七三三九六
- 担当 戸塚・松沢

お願い

・ネパールへ荷物運搬(学校のカバン・文房具)のお手伝いを願います。集めています。

古切手・書き損じハガキ・毛糸・カバン用布 前回お送り頂きました書き損じハガキは、四〇、六九四四分の切手に交換できました。ありがとうございます。

物故者のお知らせ

- ・ご冥福をお祈りしますと共に今までのご支援に感謝いたします。
- 北村愛典様 〇九年十一月 長野県上田市
- 深江泰輔様 一〇年二月 群馬県高崎市
- 小池正夫様 一〇年三月 北海道札幌市
- 小林 榮様 一〇年五月 東京都文京区
- 関 潔様 一〇年五月 東京都大田区

編集後記

一九八九年に任意団体から出発して一九九三年に財団法人に、この四月は公益財団法人への移行とジャイチもこの二〇余年に歴史を刻んで参りました。創設者の遺志を継ぎ、開発途上の農村地域の自立のための事業を継続してまいります。

2009年12月21日～2010年6月20日迄 順不同敬称略

ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

◆ 人的協力

〈栃木県〉
綿谷芳雄
〈埼玉県〉
皆川勇・恵娟
〈群馬県〉
小林美智子、斉藤孝夫
〈東京都〉
池田照子、市川薫、稲村道子、株式会社イメージブレイン千原卓司、大山静江、桂田道子、片岡忍、鎌田はなよ、小林みよ子、小山恵美子、沢邊節子、菅野眞智子、滝和美、田山豊實、野寺温子、松島長久、松田重箕、山下政道

〈神奈川県〉
小林英子、小林剛、小林俊、小林まゆみ、松浦信明
〈長野県〉
新居洋子、白井千鶴子、柿島明子、加藤美幸、菊池健介、株式会社北澤土建、有限会社佐藤新聞店、有限会社大和印刷、田村由紀子、根岸厚次・真貴子、松久久雄、松久よし子、宮入正法
〈富山県〉
川上英子
〈愛知県〉
神田孝子、城基義、白澤たづ子、滝本美恵子、松本耕伸・潤子、村田あやみ

〈大阪府〉
三尾和子
〈福岡県〉
坂本ふみ
〈佐賀県〉
平尾紀美子
〈海外〉
ネパール ホテルサンセツトビュール・アルジュン・シン／絃子・トラチャン、ウツタム・タパ

◆ 基金・維持費・事業費

〈北海道〉
小野倫夫、串田長久、中川洋子、服部昌男、水口馨・一枝
〈岩手県〉
及川ミサ、佐藤朋子、八重樫孝・洋子
〈宮城県〉
石井優
〈山形県〉
庄司賢一
〈茨城県〉
青木満子、魚津慶子、折本拓郎
〈栃木県〉
大橋秀充・啓子
〈群馬県〉
小坂橋靖幸、小林美智子、島田寛治、順子、橋真智子、塚越雅幸、堀越利通
〈埼玉県〉
小澤昭信、斉藤節子、佐川賢一、須田清、藤井英雄
〈千葉県〉
伊藤妙子、専念寺岡本學

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。平成22年3月に、内閣府より公益認定を受け、4月1日より公益財団法人日本農業研修場協力団に移行致しました。これに伴い、皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができるようになりました。今後は、一般寄附として受け入れることとなります。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

ジャイチの基本的財源として

一般寄附とは、皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。

その中より剰余金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れます。基金は、投資信託、外債、国債などで運用し、その果実(利息)でジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

特定寄附金の募集

新たに大きい費用のかかる事業を計画した時に、その応援費用として確保することを目的としています。

- 特定の事業において、資金が必要ときに皆様にお願いのお知らせをさせていただきます。

所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。(平成22年現在の税法による)

●個人の方が支出する寄附金の場合

所得税について

その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が

総所得金額等、退職所得金額又は山林所得金額より控除できます。(但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の40%を超える場合は所得金額の40%を限度とします。)

住民税について

その年中に支出した寄附金の合計額より5千円を差し引いた金額に控除率を掛けた金額が所得金額より控除できます。(但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の30%を超える場合は所得金額の30%を限度とします。)

※尚、住民税の寄附金控除の対象は各県又は市町村の条例で指定された寄附金のみが対象となりますのでご注意ください。

上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。

●法人の方が支出する寄附金の場合

一般の寄附金とは別枠として{(資本金×0.25%+課税所得×5%)÷2}の金額が損金算入されます。

申告書の記載等、一定要件を満たす必要があります。

●遺産相続時による寄附

遺産相続した方が遺産の一部を寄附した場合、寄附金額全額が、課税対象金額より除外されます。

寄附金の金額についての規定は、ありません。お一人お一人ご自分で決め下さいますようお願い申し上げます。

郵便振替・銀行振込での募金

■お振込先

- 郵便振替 00510-4-65434
- 銀行振込 八十二銀行 丸支店 (普) 420577
口座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団



絵:マン

高橋節子、竹部愛子、中根正義、向井夏詩

〈東京都〉

荒川みさ子、池田圭伸、市川薫、石田昭夫、今井正史、株式会社岩崎緑化、上原真智子・一茂、大山静江、岡田信一、小野寺えり子、棧康子、河野節子、鎌倉恵子、木村慈子、黒田秀基、佐々木春子、新海泉、助川紀子、滝和美、田山豊實、中川彰、中篤いづみ、西岡巖、西重正博、二瓶幸子、根津

バザーの会、野村明賢、菱田敏子、平林冽、干場公紀、正田英子、松島長久、松田重箕、三戸多恵子、安田晴彦、山縣敏子、山科正平、吉岡勝行

〈神奈川県〉

石井清・ゆきえ、田中光弘、有限会社中川緑花園、春本功、堀内弘栄、松浦信明
〈長野県〉
池田佐代子、石橋久夫、井出守雄、内山富之、太久保千昭、小埜沢浩一、

小山田秀士、菊池健介、北澤純一、高本洋子、小平篤、小林淳、小林展子、小林路子、五味あつ美、齊藤諄子、島田基正、進和商事株式会社、司法書士竹内克彦、武田順治、塚田正己、直井保彦、中澤知史、長野県連合青果株式会社、中村彰、西沢利雄、松林進、松久よし子、溝上健、宮澤令行、宮下静子、山崎やす、依田保、ジャイチ事務所寄付金箱

〈新潟県〉

帯瀬憲五、小森修
〈富山県〉
野原宏史
〈岐阜県〉
庄村敏
〈静岡県〉
伊熊武夫、宇佐美慶一、岸本峰子、藤巻禧四郎、宮崎哲至・恵、山梨加代子
〈愛知県〉
伊藤正裕、加藤光弘・恵子、丹羽千春、藤井久生、藤原純子、本田忠彦、村

依田窪南部中学校におけるボランティア委員会の活動を通して

「かばんを大切に使いたい・・・」

一昨年、ボランティア委員会でジャイチの島田さんから、ネパールの情勢や学校の様子をお聞きした後の生徒たちの素直な思いです。日本との違いに驚きを感じ、自分たちの恵まれた学習環境に気づかされました。

依田窪南部中学校は美ヶ原高原の裾野に位置し、四季折々の美しい自然に囲まれた学校です。学校のシンボルは花菖蒲で、学校園委員会を中心に全校で大切に、六月には花を満開に咲かせます。花菖蒲を大切に

育てる気持ちは温かな心を育てると思えます。

本校とネパールとの交流は十年ほど前から続いていて「Yodakubo」と名づけられた校舎もあります。三年前には全校で島田さんからネパールのお話をお聞きし、文房具を贈ったり、はがきや切手などを寄付したりする活動の大切さを改めて実感しました。また卒業時に不要になった学生カバンをバシファント学校の子どもたちに利用してもらう活動も行ってきました。ネパールの子どもたちがカバンを背負っている写真を見た生徒

たちは、自分たちのカバンが本場に外国で役立っていることを知り感動しました。昨年はネパールから英語で書かれた個人宛の手紙が届きました。生徒たちは辞書を引きながら一文ずつ心のこもった内容を読みました。ネパールの気候や学校の様子、私たちの活動に対しての感謝の気持ちが綴られており、活動を通じての交流が深まったことをうれしく感じました。

これらの活動を機にこれからも身近な事象や世の中で起こる様々な問題に対して共感したり、問題意識を持つたりしながら、ボランティア活動に取り組み、活動を通して様々な「喜び」

や「感動」を味わって欲しいと願っています。

小宮山香里先生
(長野県上田市)

◀依田窪南部中学校の卒業生から送られたランドセルを背負うバシファント学校の中学生



The Junior high school students of Basiphant school bearing school bags presented by the graduates of Yodakubo Nanbu Junior High School.

寄付品

- 瀬政子、安田美奈子
- 〈滋賀県〉
岡田千尋、木田信次、ふくろう基金玉田盛二
- 〈京都府〉
青木正明、奥西一夫
- 〈兵庫県〉
川上康子
- 〈和歌山県〉
中前孝啓
- 〈徳島県〉
辻光雄、有限会社山根自動車山根憲一
- 〈香川県〉
宮下裕
- 〈鹿児島県〉
小田原孝之、國崎敏廣・栄子、保拓夫
- ・ジャイチネパールへ直接
川島実、滝和美、春木宏介
- 〈北海道〉
長嶋みどり
- 〈茨城県〉
三英堂ビジネス株式会社
柳沼義夫
- 〈埼玉県〉
皆川勇・恵娟
- 〈群馬県〉
株式会社高崎ベアリング
商会小坂橋靖幸
- 〈千葉県〉
株式会社マルシヨ、吉村芳江
- 〈東京都〉
小島則子、片山美智子、
- 小林榮、鈴木牧子、滝和美、野村建設工業東京本店営業課、舟波幸子
- 〈神奈川県〉
石上昌子、川口朗子、鈴木規子、高橋佳晴、堀内フサ子
- 〈長野県〉
白井千鶴子、有限会社美ヶ原燃料、菊池健介・道子、田村由紀子、有限会社大和印刷、樋口種苗、松久よし子、上田市立丸子北中学校、長和町立長門小学校子育て委員会、宮下静子
- 〈愛知県〉
浅井延子、後藤康洋、滝本美恵子、名古屋大学医学部付属病院呼吸器内科先生方
- 〈山口県〉
匿名の方
- 〈佐賀県〉
佐賀銀行今福支店
- 〈鹿児島県〉
國崎敏廣・栄子
- 〈海外〉
・ジャイチネパールへ直接寄付
加藤すみ枝、加藤美幸、鎌田はなよ、小林みよ子、滝本美恵子、滝グループ
ありがとうございます
- これからも宜しくお願ひします。